

(様式1)

## 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立米子工業高等学校

重点項目	社会人等資質育成重点校	提出日	令和4年12月22日
------	-------------	-----	------------

1 学校目標
1 ものづくり人財としての自律した態度と技術の育成 2 ふるさとキャリア教育による在り方と生きがいの創造 3 持続可能な地域社会への協働参画 4 地域ネットワークとの連携 5 向上心とワークライフバランスの実践
2 重点項目に係る目標
1 3年間の体系・系統立ったキャリア教育による進路意識の高揚 (1) インターンシップによって、生徒の社会的・職業的自立に向け、コミュニケーションなどの基礎的・汎用的能力を育成し、勤労観・職業感を自ら形成・確立できるようにする。 (2) 3年間を通して県内外企業見学を実施し、就労意識を高める。 (3) 卒業後の定着指導によって、高い定着率を維持する。
2 地域を担う社会人としての意識の高揚 (1) 地域社会に役立つ「もの」をつくる達成感・充実感を得ることにより、より高い知識・技術の習得に繋げる。 (2) 自然災害に対する意識を高め、地域社会のニーズに合ったものづくりのみならず、他者への思いやりの意識も育む。
<数値目標>
1 毎年度実施の学校アンケートで、以下の結果について、それぞれ肯定的な回答80%以上を目指す。 生徒対象「インターンシップは勉強になったし、充実していた」 令和3年度 88.5% 生徒対象「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」 令和3年度 90.7% 保護者対象「本校は、進路選択に向けた取り組み、企業見学(1年)、インターンシップ(2年)、課題研究(3年)等が充実している」 令和3年度 85.8% 保護者対象「本校は、将来にわたって役立つ教育が行われている」 令和3年度 96.8%

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

1 キャリア教育充実事業

(1) 社会人となるための心構え

県外から講師を招き、社会の一員となるための心構えや在学中にすべきことについて講義を実施する。

【独自事業】

1 ものづくり人財としての自律した態度と技術の育成事業

(1) 工業高校における授業改革

①指導力向上に向けた講習会への参加

生徒の知識や技術・技能の向上及び資格取得の推進を図るため、教職員がさまざまな分野で新たな技術や資格取得に関する研修に参加して、指導力を向上させる。

②校内研修の充実

授業実践や教育に関する学びをWebや動画サイトを活用して校内での研修を可能とする。

2 ふるさとキャリア教育による在り方と生きがいの創造事業

(1) マナーアップ講演会

卒業後すぐに社会人となる生徒も多いため、外部講師を招き工業高校生としての規範意識等の向上や社会生活の規律を意識させる。

(2) インターンシップの実施

2年生全員に対して各科の特性に沿った企業への就業体験を行い、職業人としての心構えや姿勢について学ぶ機会とする。また、企業現場での実習を通して実用的な知識や技術に触れ、学習意欲の向上を図る。

(3) 進路学習の充実

①1年生 県内企業研修

地元企業で現場研修を行い、産業界に対する認識を深め、進路選択に明確な目標を立てるための一助とする。

②2年生 県外企業研修

関西・東海方面の企業で研修を行い、企業における専門的かつ実用的な知識や技術・技能を見聞し、勤労観・職業観を生徒自らが形成・確立するための一助とする。

(4) 県外企業理解と定着指導

県外企業への就職者に対する定着指導から得た情報を在校生に還元することで、社会人としての心構えなどの育成を図る。

(5) 大学進学希望者に対する指導体制の構築

進学希望の生徒に対し必要な情報をそろえることで学力面での具体的な目標を提示し、変化の激しい入試の選抜方法への的確な対応を図る。

(様式1)

3 持続可能な地域社会への協働参画事業

(1) 地域への貢献事業

地域貢献することで、生徒のコミュニケーション能力、創造力を向上させ、自己肯定感を形成すると共に地域を担う人材育成の一助とする。

(2) 防災・避難に関するものづくり

自然災害に対する意識を持たせながら生徒自らができることを模索し、授業で培った技術や技能を用いて、社会のニーズに合ったより高度なものづくりに繋げる。

※枚数任意